

学校法人千葉工業大学×肝付町 宇宙産業に係る人材育成に関する包括的連携協定を締結

6月24日、学校法人千葉工業大学と「宇宙産業に係る人材育成に関する包括的連携協定」を締結しました。

本協定において、大学と町が有する人的・物的・環境的資源を有効に活用し、千葉工業大学高度技術者育成プログラム（宇宙輸送版）における同大学人材育成用観測ロケットの製作や町内での打上げを目指し、ロケット製作場所や射場の環境整備、大学生の町内での活動の支援を行います。

今後は、町内における大学と共同研究・開発を行う民間等の企業活動や、次代を担う大学生による宇宙教育活動などの地域振興にも繋げていきます。



▲千葉工大 瀬戸熊理事長（写真左）
鹿児島県 大塚副知事（写真中央）

千葉工業大学 CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

千葉県習志野市津田沼に本部を置く私立大学。1942年創立。現存する私立理工系（単科）大学としては最古の歴史を有する。

設置科は5学部17学科、大学院5研究科修士課程14専攻・博士後期課程3専攻で、学生数は約1万名。2023年度には志願者数は14万5128人で、全国第2位。

2025年4月から、現在の工学部機械電子創成工学科を改組し、「宇宙・半導体工学科」を新設。機械工学と電子工学を学び宇宙や半導体産業など最先端分野で活躍できる人材育成を目指す。

自治体との連携協定は、千葉県内市町村とは締結しているが、今回のような千葉県外の自治体との連携協定は初。



企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

6月27日に企業版ふるさと納税感謝状贈呈式が行われました。

これは、株式会社鹿児島銀行（取締役頭取 郡山明久）から、本町が取り組む宇宙関連施策に対し、自治体の地方創生事業を応援する「企業版ふるさと納税制度」を活用した寄附を受けたことによるものです。

いただいた寄附は宇宙関連事業に活用し、本町の更なる地域活性化につなげていきます。

在宅福祉アドバイザー研修について

6月17日に町文化センターにて、在宅福祉アドバイザー研修を行いました。

研修は、大隅肝属地区消防組合東部消防署の方々をお招きし、救急講習をおこないました。

緊急時に立ち会ったときに備え、胸骨圧迫の実技講習や止血法、AEDの使い方等について教わりました。地域の方でお困りの方がいらっしゃいましたら、地区の民生委員やアドバイザーに気軽にご相談ください。

